

# みなみ公民館だより 12月号

(令和7年12月1日 発行)

編集 蕨市立南公民館 蕨市南町2-23-19

TEL 048-442-4055・FAX 048-443-0761



No. 429

## 南町地区生涯学習フェスティバル ～来て！見て！歌って！楽しもう！～

さる11月8日～9日に実施いたしました南町地区生涯学習フェスティバルは、実行委員の皆様をはじめ、企画・運営にご協力くださった皆様のおかげをもちまして、無事終了することができました。フェスティバルに参加くださった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。(2日間の参加者 1,208人)

みんなで歌おう



芸能&クラブ発表



みんなの作品展



募金する  
ワラビーくん



※紙面の都合上、一部のイベントのみを掲載させていただいております。ご容赦ください。

## 講座のご案内

### ◆小学生～高校生の点字入門教室

日時 12月13日(土) 午前10時～

場所 南公民館 2階団体連絡室

対象 市内の小学生～高校生

※登録制です。登録するには、事前に申込が必要です。

### ◆冬休み子ども教室①

英語で歌おう クリスマスソング

日時 12月25日(木) 午後1時30分～

場所 南公民館 3階集会室

対象 小学生・中学生 20人(先着順)

申込 12月2日(火)～ 電話・メール可

### ◆0歳児ママのふれあい広場

日時 12月25日(木) 午前10時～

場所 南公民館 2階和室

内容 クリスマス会

定員 10組(先着順)

申込 受付中 電話・メール可

### ◆おはなしくまさん

日時 12月6日(土) 午後2時～

場所 南公民館 3階集会室

内容 絵本の読み聞かせや工作

※今月は「クリスマス会」です。

### ◆冬休み子ども教室②

新春けん玉教室

日時 1月6日(火) 午後1時30分～

場所 南公民館 3階集会室

対象 小学生・中学生 20人(先着順)

申込 12月2日(火)～ 電話・メール可



## 冬季南町地域パトロール

と き 令和7年12月5日(金)

集合場所 南公民館 1階ロビー

集合時間 午後7時00分

解散時間 午後8時00分頃、各自現地解散

※南町地区を複数のグループに分かれて巡回します。ご協力をお願いいたします。

## 南公民館「年末大掃除」

と き 令和7年12月22日(月)

集合場所 南公民館 3階集会室

集合時間 午前9時30分

※倉庫・ロッカー内のごみを廃棄します。

倉庫・ロッカー使用団体は、当日までに整理整頓をしてください。

## ■年末年始閉館のお知らせ■

年末年始（12月29日～来年1月3日）は、南公民館が閉館となります。ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。本年も、多くの皆様にお世話になりましたこと感謝申し上げます。来年もよろしくお願いいたします。（12月26日・28日・1月4日は館内整理日です）

部屋の予約	年末12月26日	午後5時15分まで	年始1月5日	午前9時	から
部屋の使用	年末12月27日	まで	年始1月5日		から
粗大ごみ収集券販売	年末12月26日	午後5時15分まで	年始1月5日	午前8時30分	から

### 駐車場一部使用不可について 11月19日（水）～1月13日（火）

屋上防水工事のため、駐車場が一部使用できなくなります。また、日によっては、駐車場が全て使用できなくなる場合があります。ご理解、ご協力のほどお願いいたします。

## 「和食の日」について

## くるみ保育園 園長

本来「和食の日」は、11月24日ですが、祭日のため保育園での取り組みとして、11月14日に子ども達（4・5歳児）と一緒に日本の食文化に触れる体験を行いました。

だしの香りを感じてもらうために「かつお節」や「昆布」「しいたけ」「煮干」を見たり触ったりし、実際にだしの香りをかいでみたり飲んでみたりしました。

「いいにおい!!!」「美味しい♡」などと笑顔がたくさん見られ、とても嬉しく思いました。

また、だし当てクイズなども行い、子ども達が日本の伝統的な食文化に触れ、食への興味を広げる機会にもなりました。



## 河鍋暁斎記念美術館 2025年12月展覧会

## 企画展「画鬼暁斎 めくるめく妖怪画展」

## 同時開催 特別展「『暁斎鈍画』の世界」展

※最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。 <http://kyosai-museum.jp>

会期：2025年11月1日（土）～12月22日（月）

休館日：毎週火・木曜、毎月26日～末日、年末年始

入館料：一般600円、高校生・大学生500円、小・中学生300円、65歳以上500円

第1・2展示室では、12月も引き続き、暁斎による妖怪画展を開催中です。

また第3展示室では、バラエティーに富んだ画を掲載する暁斎の絵本『暁斎鈍画』（明治14年<1881>）の中から選りすぐりの作品をパネル展示でお楽しみいただきます。

【今月のお勧め作品】東京開化名所記 おうじいなりしゅ 王子稲荷社 ほか  
暁斎（署名：怪々暁斎）・国周・国義合筆 明治7年（1874）  
沢村屋板 大判錦絵

現在の北区王子周辺一帯は、江戸時代には大きなえのき榎の木が一本あるだけの田園地帯でした。年末のおおみそか大晦日の夜、関東の狐たちがその榎の木の下で正装に着替え、「狐火」と呼ばれる青白い炎を発生しながら、王子稲荷に向かって行列すると言い伝えられていました。

本図に描かれた狐たちの正装を見ると、郵便夫の制服や、羽織に帽子という和洋折衷スタイル、中にはドレスアップした女性や、ガス灯に変身した狐までいます。狐たちの世界にも文明開化が訪れ、当時最先端の風俗に化けているということ、巧みなユーモアによって表現した点に、暁斎ならではの機知が見られる作品です。

